

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	建設部(上下水道局)
	08084-1	施設整備事業(都市下水道費)	室名	下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	07:上下水道の整備	務	款 土木費
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	科	項 都市計画費
戦略プロジェクト		目	目 都市下水道費	

② 目的・概要	対象	都市計画区域内の市民
	目的	都市計画区域内の水路で、老朽化の進行した箇所や、排水不良を起こしている箇所の整備改修を実施し、住環境の改善を図る。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称 進捗率	計画値		
		補足 整備実績/計画事業	実績値	100	100
			単位	%	%
	成果	② 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		
①	名称	計画値			
	補足	実績値			
		単位			

年度計画				年度実績			
				下水路整備 (能褒野都市下水道) 測量・設計 L=95.0m (南野地区) 水路φ900 L=44.0m (布気地区) 水路法面工 L=2m			
				下水路清掃 (市内) N=4箇所			
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 5,552
		事業費		8,192	7,728	一般職員人件費 ② 5,552	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③ 0.75	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	
		地方債				受益者負担額 ⑤	
		その他				受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		一般財源		8,192	7,728		
		再掲	翌年度への繰越額		0		
			前年度からの繰越額				
			総人件費		① 5,552		
	総コスト		⑥ 13,280				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成26年度については、能褒野都市下水道で整備計画を策定し、2地区の水路で整備を実施した。老朽化・排水不良となっている水路を改修し、住環境の改善、安全性の向上に寄与した。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	水路の老朽化の進行、また近年の気象状況の変化による浸水被害等、水路整備の必要性が高まっている中、財源の確保が課題となっている。
	【改善の方向性】	能褒野都市下水道については、策定した整備計画に基づき事業を進めていく。財源については国・県の補助制度の活用を図る。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 下水道室長 松永 政司
--------------	---------	----------------------